

# 大田区職員9条の会ニュース

第141号 2019年1月29日 編集 大田区職員9条の会事務局  
大田区職員労働組合気付

## 今年はどうな年に？

## 今国会で改憲案が発議される!?

## 着々と進行する大軍拡—「新防衛大綱」

明けましておめでとうございます。安倍自民党は今国会で、憲法改悪の発議をおこない、2020年には新しい憲法を制定させたいと改憲の意思を明確にしています。また、昨年末には「防衛計画の大綱」を閣議決定し、大軍拡を加速させることを明らかにしました。

憲法第9条を変えることを柱とする改憲と、アメリカの武器を大量に購入し進められる軍拡。いつでもどこでも戦争ができる国へと、日本を変貌させて良いのでしょうか。

自民党改憲案と新防衛計画大綱を改めて整理してみると

### 自民党改憲案とは？

#### —第9条の改憲に絞って—

現行憲法の一項と二項＜戦争の放棄と戦力及び交戦権の否認＞を変更せず、9条の2を加える。

#### ⇒9条の2

前条の規定は、・・・国及び国民の安全を保つために必要な自衛の措置をとることを妨げず、そのために実力組織として、法律の定めるところにより・・・内閣総理大臣を最高の指揮監督者とする自衛隊を保持する。

※現行の9条一項二項を変更しないとしながら「9条の2」を加えることで、実質的には変更（否定）され、自衛隊が明記される。すでに「安保法制」で集団的自衛権の行使も可能とされたため、自衛隊が海外でも戦争をおこなう憲法上の制約が取払われると言われている。

### 防衛計画の大綱とは？

- 海上自衛隊「いずも」型護衛艦の改修



F35B ステルス戦闘機（短距離離陸垂直着陸機）の発着が可能な改修をおこなう。

→攻撃型空母への改修

- F35 B を 105 機追加調達  
すでに閣議決定している A 型の 42 機と合わせて 147 機体制へ



- 長距離巡行ミサイルの導入  
政府は従来敵基地攻撃能力としていた。F35A に搭載予定
  - 宇宙防衛へ  
陸海空自衛隊を、宇宙・サイバー・電磁波という新たな領域で統合
- ※5年で過去最高の 27 兆 4,700 億円(中期防衛力整備計画 2019～23 年度)の武器調達計画  
ちなみに社会保障費の伸び（高齢化による）は削減！

## ～反戦、反侵略の思いを強くした～

2018年12月11日～15日まで中国の主に北京市と南京市に行きました。

今回の旅の目的は12月13日に行われる「南京大虐殺死難者国家追悼式」に参列する事でした。参列した国家追悼式と「南京大虐殺記念館」について報告します。

## 日中不再戦、反覇権の「誓い」の碑

12月13日は国家追悼式に参列しました。「寒いよー」という前評判でしたが、意外と暖かく風もない天候に一安心して会場に向いました。「国家追悼式」が始まる前に交流広場に行きました。

「中国侵略戦争を労働者人民の闘争によって阻止し得なかったことを深く反省し（中略）日中不再戦、反覇権の決意を堅持し・・・両国労働者階級の友好発展を強化し、アジアと世界の平和を確立するため、団結して奮闘することをあらたに誓います」

これは、1985年8月15日に日中労働者交流協会（日中労交）の初代会長の市川誠氏によって起草された「誓い」の一節です。今この「誓い」は2009年に日本語・中国語・英語で碑に刻まれ、南京大虐殺記念館の交流広場に建立されています。私が参加した訪中団はこの「日中労交」の継承組織「日中労働者情報フォーラム」です。この碑を前にして私も「二度と侵略戦争をしない」思いを新たにしました。

「国家追悼式」は中国共産党からの追悼の言葉や子供たちの追悼の詩の群読がありました。参列後「南京大虐殺記念館」に行きました。1937年12月13日、日本軍は、当時の首都であった南京を陥落させました。そして、この日から日本軍が南京市内で行った蛮行が「南京大虐殺」です。記念館には、市内に滞在していたドイツ人やアメリカ人などの手記や日本軍の文書、当時の新聞記事や日本軍が撮った写真、中国側の生き残った人（幸存者）の手記など、当時の様子を伝える展示されていました。「虐殺はなかった」という日本の中にある言説を具体的にその間違いを指摘してある展示があり、それが印象的でした。

夜は追悼のロウソク集会に参加しました。LEDで作られたロウソクの灯が静かに揺れる中、集会は、中国語と英語で行わが行われました。私たちのすぐ前に小学生がいました。おとなしく参加していましたが、飽きてくると友達にチョコカイを出す子もいて「子どもはどこでも同じだなー」と感じました。

今や世界第二位の超大国になった中国。アメリカトランプ大統領と覇権争いをしている事や民主主義が否定されていることなどの報道が多い中での訪中でした。これからの中国労働者とのような連帯関係を作るのかという大きな課題を実感しました。同時に事実を事実として認めない指導者に、日本の将来を任せていていいのだろうかという思いを強くした中国の旅でした。



戦後70年以上語られなかった陸軍中野学校の「秘密戦」、  
明らかになるのは過去の沖縄戦の全貌だけではない——。

上映会

沖繩  
スパイ  
戦史

大矢英代  
三上智恵

日 時：2月15日（金）  
18：00開場  
18：30上映  
会 場：きゅりあん6階大会議室  
（JR大井町駅東口前）  
入場料：1000円  
主 催：沖縄のたたかいと連帯  
する東京南部の会